

1 概況

摘採がはじまった地区が増えてきました。今週前半の雨、風により海況が良くなったところも見受けられます。ノリ漁場の植物プランクトンは少ない状況が続いていますが、栄養塩は知多半島南部では少なめの状況が続いています。水温は、水温降下が停滞していた昨年同時期と比べると伊勢湾側・三河湾側ともに1℃程度低くなっています。
11月24日に気象庁から12月～2月にかけての3か月予報が発表されました。それによるとラニーニャ現象の影響で、寒気の影響を受けやすくなるため、気温は平年並か低くなる予報となっています。
なお、魚・カモによる食害が各地で目立つようになってきていますので、しっかりと対策を行ってください。また、あかぐされ病抑止、製品の質向上のためにも、食害される前の全力摘採を心掛けてください。

2 気象・海況

<水温> 11月25日

1～2号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	15.0℃
	平年差	+0.4℃

<水温> 11月26日

漁生研 (-3.0m)	10時水温	16.1℃
	平年差	-0.9℃

<潮位偏差> 11月25日

名古屋港	5日平均※	+10 cm
	偏差	+6 cm

※11月21日～25日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西部地区	北中部: 多い～やや多い、南部: やや少ない～少ない	なし	植物プランクトンは少ない
知多東部地区	やや少ない～少ない	なし	植物プランクトンは少ない
西三河地区	多い	なし	植物プランクトンは少ない
東三河地区	やや多い～少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

<気温動向の予測> (気象庁予報より)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より低い日が多いですが、期間のはじめと終わりは平年より高い所もあるでしょう。降水量は、平年並か平年より多い見込みです。
-------	---

3 養殖状況

地区	摘採	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病障害	養殖作業等
知多西部地区	11/20～	250～500	概ね良好	カモ、魚	なし	海況概ね良好。南部単張り5割～8割。
知多東部地区	11/20～	100～300	概ね良好	カモ、魚	なし	色調回復傾向。1回汐への出荷は見送るところ多い。
西三河地区	11/22～	少量	概ね良好	カモ、魚	なし	11/25までに全域で摘採開始。
東三河地区	-	-	-	未確認	なし	11/19～21出庫

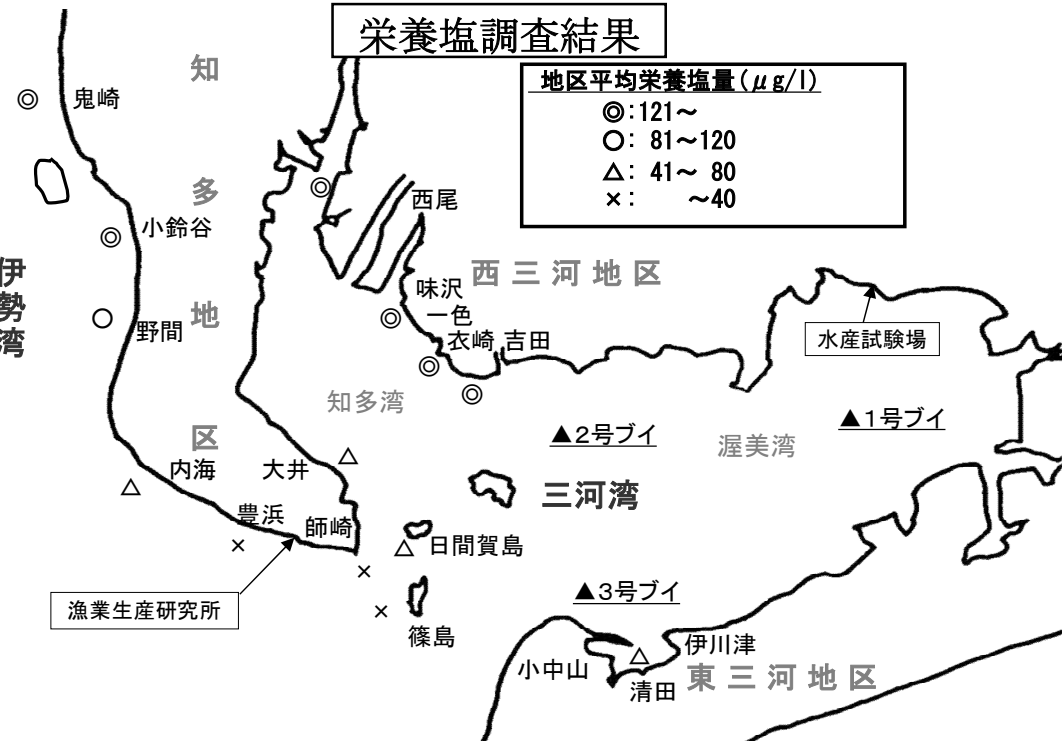
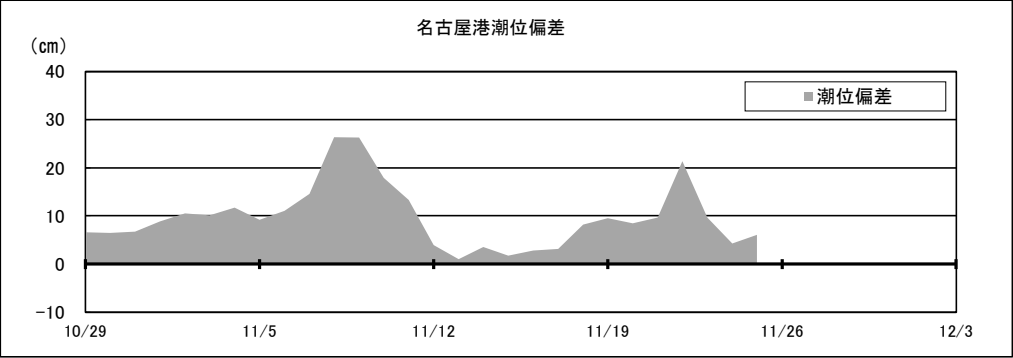
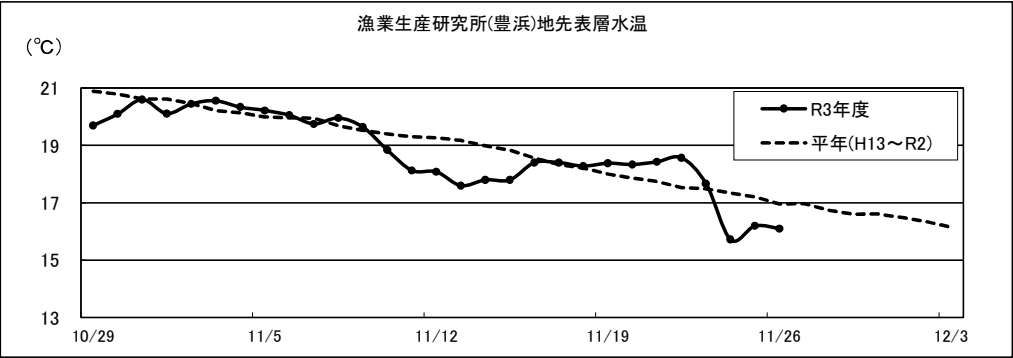
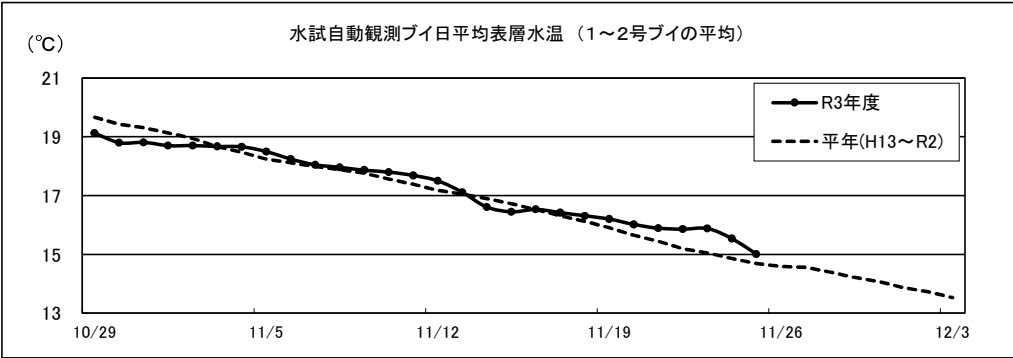
4 今後の管理

- ① あかぐされ病の発生防止と製品向上のため、早期摘採に努めること。
- ② 食害が発生している漁場では、防除網の設置等の対策に努めること。
- ③ 製品の選別を厳しく行うとともに、異物の検査など衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は12月3日(金)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：11月25日（木）、東三河：11月24日（水）
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会